



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

93.11.29 No. 3900

下らぬ労務政策を止め「プロ意識」に徹しろ!

またも、列車は設定してあるにも車掌がいらない?!

十二月ダイ改移行日を目前にして、またも、多くの問題が噴出してきている。

ダイ改提案では、京葉運輸区担当の二一七四Y列車(蘇我ー東京間)に乗る車掌が手配されていなかったというのである。逆に、次の列車に車掌がダブっていたのだ。あわてて気が付いてBダイヤを引き直したが、前回ダイ改に続いての不祥事であ

る。前回ダイ改でも、列車は設定してあっても車掌がいなかったり、動力監視をすべき所に運転士が手配されていなかったりして、ダイ改に移行した直後にBダイヤを組み直しているのだ。一体いつまでこんなことが繰り返されるのか。JRは、このような会社組織としての機能の崩壊状態にいつになったら気が付くのか!

提案とは違う勤務種別で作業ダイヤが組まれるの?!

また、営業関係でも、同じようなことが次々起きています。現場で作業ダイヤが出てみると、提案された勤務種別と違う勤務種別でダイヤが組まれているのである。例えば、「稲毛駅喫茶エール」は、提案では十三三〇(十二時間拘束・休憩二時間)であった。しかし、現場の作業ダイヤは十三〇〇(十三時間拘束・休憩三時間)で組んでいるのだ。しかも、組合から指摘し、初めて気が付き、あわてて修正している始末である。

しかも、このようなことが一ヶ所だけではないのだ。海浜幕張駅でも同じことが起きている。

十一月二四日に、営業関係についての団体交渉が行われた。ところが、翌日現場で作業ダイヤが明らかにされてみると、前日の交渉のなかで会社側が説明したこととはあい反し、しかも提案の勤務種別と違う勤務種別でダイヤが組まれて出てくる有様だ。これも、組合から指摘されてあわてて撤回。とにかくやっつけていることが一から十までデータラメだ。

しかも、こんなことをやっておきながら、現場で働く者の声を聴いて、間違いのないようにしようなどとは絶対に考えないのだ。千葉支社は、逆に、今回

のダイ改では、各駅等に対して、二五日の勤務確定までは絶対作業ダイヤを見せるな、と指示し

ているのである。もう、こんなことはいいかげんにしろ!

習志野運輸区

またも!! 動力千葉排途 のためは不当配転

習志野運輸区で、またも不当極まりない要員送配が行われている。習志野運輸区では、三名の士職の欠員が発生している。

内訳は、五五歳一名、ダイ改に伴う要員増一名、長欠一名である。この欠員に対し、四月に強制配転で千葉運輸区に配転された者三名(動力千葉二名、国労一名)が一カ月の助勤発令で習志野運輸区に戻された。しかし、一カ月の助勤発令で三名の欠員が埋まるはずはなく、動力千葉は、この点を団交の席で質した。すると、当局の回答は、別に三名の転勤を予定しているというのである。つまり、助勤で戻された三名は、別に転勤させる三名の訓練を行うための穴埋めだというのである。実際、その後京葉運輸区から三名(JR東労二名、国労一名)の転勤の事前通知が行われている。

欠員が生じ、早急に補充が必要なのだ。四月に配転したばかりで、すぐ総武緩行線の運転をできる者をストリートに転勤させればそれで済むはずだ。それを、動力千葉を排除するためにのみ、一旦助勤で急場をしのいでおいて、わざわざ訓練の必要な者を別に転勤させるなど、今まで聞いたこともないことだ。

しかも、五五歳到達者がこの時期に発生するなど、四月の時点からわかりきったことである。にもかかわらず、四月時点で出せるだけの数、動力千葉の組合員を強制配転したのだ。

さらに、今、習志野運輸区では、五名の運転士見習いの養成が行われている。当局は、これが一本になれば、またも配転しようとしているのだ。断じて許すことはできない。